# ◎航空業務に関する日本国とオーストラリア連邦との間の協定の付表の修

## (略称)オーストラリアとの航空協定付表修正取極

| : : : ペ<br>三三三 - ジ |       |    |        | 日本側書簡 | 日本側書簡 |
|--------------------|-------|----|--------|-------|-------|
| (外務省告示第四二二号)       | (N    |    |        |       |       |
| 告示                 | 九日生   | 八月 | 元<br>年 | 平成    |       |
| 効力発生               | 十五日 効 | 六月 | 元<br>年 | 平成    |       |
| 元年 六月 十五日 キャンベラで   | 十五日キ  | 六月 | 元年     | 平成    |       |

オーストラリアとの航空協定付表修正取極

及する光栄を有します。

付

協

定

舧

オ 1 ス ۲ ラ ij ァ 側 書簡

訳文)

連邦 月十 オーストラリア及び日本国 千九百 と日本国との間の協定(以下「協定」という。 簡をもって啓上いたします。 九日に東京 八十九年一月十八日から十九日までの間東京にお で署名された航空業務に関する の航空当局の間 本大臣 は、 で行 Ŧ わ オ 九百五十六年 'n i た協 スト に 議 関 ラ ij に い U 曹 7 τ τ

わって提案す 本大臣は、 が次のとおり修正 る光栄を有します。 前記の協議にお されるべ n ð て到 旨をオ 達した了 1 ストラリア政府に代 解 に従 い、 協定 Ø

付

りとする。 H 本国 の 指 定航空企 業が 両方向に運営する路線は、 次 の

٤

お

2 1 ダ  $\exists$ 日本国内 ١ アデレ ーウ 本 スト -1 の ラリ 1 の地点 ン 地点 ۲ Į `ア内の シドニー、 1 ヶ 1 グァ アンズ、 香港・マニラーインドネシア内の そ ムー Ō 他 メルボ シド の タウンズビル -地点 ルン、 のうち六 及び ブリスベン、 (地点 後に合意 地 さ バ ı 点

オーストラリアとの航空協定付表修正取極

(Australian Note)

Canberra, June 15, 1989

Excellency,

(hereinafter referred to as the "Agreement") Services signed at Tokyo on January 19, 1956 Commonwealth of Australia and Japan for Air and Japan concerning the Agreement between the between the aeronautical authorities of Australia consultations held in Tokyo on January 18-19, 1989 I have the honour to refer to the

propose, on behalf of the Government of Australia, said consultations, I now have the honour to that the follows: Pursuant to the understanding reached at Schedule to the Agreement be amended as

### Schedule

the designated airline of Japan shall be as follows: Routes to be operated in both directions by

agreed upon Townsville, or one other point in Australia to Melbourne, Brisbane, Perth, Adelaide, Cairns, Indonesia - Darwin - any six of either Sydney, Points in Japan - Hong Kong - Manila - a point later.

Points in Japan - Guam - Sydney.

注 1 べての らない 務 H 本国 は、 が、 飛 行に当たり当 B の 本国 そ 定航空企業が 路 の領域 線上 該指 一の他 内の 地 前記の路線において行う協 定航空企業の の地点は、 点を起点とし いずれ 選択によっ なけ か の又は れば 7 省 す な 定

略

す

ることができる。

注 2 空当局に通知することにより、 通報する。 才 1 日 スト 本国 ラリア内の地点をオー の その地点は、 指 定 (航空企業は、 九十日前にオー 路 ・スト 変更することができる。 線 1 において ・ラリ スト アの ラリア 航空当局 選 択 の航 す に る

注 3 で、 除くオー 日 第五 本国 O) ストラリア内の地点と路線1 の 自 指 定航 由 の運輸権を行使し 空企業は、 ダ 1 ウィ τ はならない。 の ン及び 中間 シド 地点 ع <u>-</u> の 間 を

注 5 往 4 に い ていか つ だ 日 オ いて Ì 貨客をオ 本 1 ス は なる組合せ トラリア内で路線1に関し の 指 定航 Ì 日本国の指定航空企業は、 ストラリア 空企業は、 の七以下の地点へも運航 内 オー で 積み ス て認めら 卸 ٢ U ラリア内で積 τ 同一の業務 は 'n なら すること た七 な だにお 地 Ŋ み

オ i ス きる。 トラリアの 指定 航空 企業が両 方向 に運営す る路線 は

で

1 次のとおり 東 1 京京、 シアの 1 大 ス サバ とす 阪、 ١ ラ 州 ij る 名 ァ 古 又はラブアン 屋、 内 0 福 地 岡、 点 į 島 1 長 内の 崎、 ンド 鹿児 ネ 地 シア内 島 点 ı の マニ 那 覇 及び 地 ラー رخ 後 香 港 に 7 合 ١ V

> Notes: option of the designated airline, omitted on any or all flights. either of designated airline of Japan on these territory of Japan, but other points on routes shall begin at a point in the The agreed these routes may, at the services provided by the .

giving 90 days notice to the aeronautical authorities of Australia referred to in route 1 and may, upon alternative points in Australia Australia of its selection of the The designated airline of Japan shall change its selection. inform the aeronautical authorities of

2

- ω other than Darwin and Sydney and any not exercise fifth freedom traffic The designated airline of Japan shall rights between any point in Australia intermediate point on route
- not put down in Australia traffic taken The designated airline of Japan shall on board in Australia.
- 5 of its seven authorized points in serve, on the same service, any number airline of Japan shall be entitled to Australia and in any combination. In respect of route 1, the designated

Fukuoka, Nagasaki, Kagoshima, Naha, or one other point in Japan to be agreed upon later. Hong Kong - any six of either Tokyo, Osaka, Nagoya, point in Sabah or Labuan in Malaysia follows: Points in Australia - a point in designated airline of Australia shall be Routes to be operated in both directions by Manila Indonesia -

往 1 点 の選択によって省略することができる。 ず とし う協 オ ì なけ 定業 ス F の又は ħ 菸 ラ は、 ば ý ななら す ァ オー の べての飛行に当 な 指 ストラリ い 定 が、 航空 その 企業 ŕ 路線 の が たり当該指定航空企業 領 前 上の 域 記 内 の 他 の 路 の 線 に 地 地 넊 点 お は、 を起 V τ

注 2 とにより、 その地点は、 択する日 オ 1 ス 1本国 ١ 変更することができる。 ラリ 九十 内 の ァ の指 Ė 地点を日本国 前に日本国 定航空企業は、 の航空当局 の航空当局に通報す 路線1 に通 に 知 お す v , る。 るこ て選

注 3 輸 権を行 の 才 地 1 点 スト 使 ع î 路 ラリア て 線 は 1 ならない。 の の指定航 中間 地点と 空企業は、 の 間 で、 東 第五 京を除く の自 曲 日 0 本 国 運

注 4 だ貨客を日本 オ 1 ・スト ラリアの 国 内で積 指定航空企業は、 み 卸しては なら 日 な 本国 内 で 積 み 込

往 5 いて できる。 H 本 ォ 国 ì か なる スト 内 で 組合 ・ラリ 路 線 1 せの六以下の地点へも運航す ア Ó に関 指定航空企業は、 して認 め られた六 间 地 一の業務にお 心点に ることが つ い 7

往 6 る。 港され オー た後直 ストラリア ちに、 の指定 大阪への業務を開始 航 空企業は、 関西国際空港 することが で が ð 開

### . Points in Australia - Guam - Tokyo.

Notes: 1. The agreed services provided by the designated airline of Australia on these routes shall begin at a point in the territory of Australia, but other points on either of these routes may, at the option of the designated airline, be omitted on any or all flights.

- 2. The designated airline of Australia shall inform the aeronautical authorities of Japan of its selection of the alternative points in Japan referred to in route 1 and may, upon giving 90 days notice to the aeronautical authorities of Japan, change its selection.
- 3. The designated airline of Australia shall not exercise fifth freedom traffic rights between any point in Japan other than Tokyo and any intermediate point on route 1.
- The designated airline of Australia shall not put down in Japan traffic taken on board in Japan.
- 5. In respect of route 1, the designated airline of Australia shall be entitled to serve, on the same service, any number of its six authorized points in Japan and in any combination.
- The designated airline of Australia may commence services to Osaka as soon as the Kansai International Airport becomes operational.

オーストラリアとの航空協定付表修正取極

propose that this Note together with Your Excellency's Note in reply indicating such acceptance shall be regarded as constituting shall enter into force on the date of Your an agreement between the two Governments which Government of Japan, I have further the honour to If the above proposal is acceptable to the

(Signed) Ralph Willis, M.P. I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurances of my highest

consideration.

敬意を表します。

千九百八十九年六月十五日にキャンベラで

オーストラリア運輸通信大臣

ラルフ・ウィリス

本大臣は、

以 上

を申し進めるに際し、

ここに関下に向

かって

Excellency's reply.

-**†**-

の返簡の日付の日に効力を生ずることを提案する光栄を有しま

「両国政府間の合意を構成するものとみなし、

を る

ものであるときは、

この書簡及び受諾を表

明する閣下の返觞 その合意が閣下

本大臣は、

更に、

前記の提案が日本国政府にとって受諾し得

Minister for Transport and Communications Australia

and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary Mr. Kenichi Yanagi His Excellency

to Australia

日本国特命全権大使 柳 閣下 オ

1

ストラリア連邦駐在

### 日 本側書簡)

### 訳文)

次 の書簡に言及する光栄を有します。 書簡をもって啓上いたします。 本使は、 本日付けの貴大臣

オ 1 ス ۲ ラリ ァ 側 書 簡

を有します。 合意がこの返 びこの返簡が 簡 両 国 の 日付 政府 貴大臣に通報 間 の日に効力を生ずることを確認する光栄 の合意 を構成 するも の とみなし 貴大臣の 書簡 その 及

案を受諾する旨を

本使は、

更に、

H

本

国

政

府

が

ストラリア政府の前

記

の

す オー

るととも

に

敬意を表します。 本使は、 千九百八十九年六月十五日にキャンベラで 以上を申 し 進めるに際し、 ここに貴大臣に向 かっ て

オーストラリア連邦駐 在

日本国特命全権大使 柳 健

オーストラリア運輸通信大臣 ラルフ・ウィリス殿

### (Japanese Note)

Canberra, June 15, 1989

. の

I have the honour to refer to your Note of today's date, which reads as follows:

"(Australian Note)"

date of this reply. Governments, which shall enter into force on the as constituting an agreement between the two your Note and this Note in reply shall be regarded of the Government of Australia and to confirm that the Government of Japan accepts the above proposal I have further the honour to inform you that

I avail myself of this opportunity to extend to you the assurances of my highest consideration

(Signed) Kenichi Yanagi and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary to Australia

Australia Minister for Transport and Communications The Hon. Ralph Willis, M.P.

(参考)

この取極は、昭和三十一年に発効したオーストラリアとの航空協定(現行条約集覧及び条約集第

一二七〇号参照)の付表を修正するものである。